



プレスリリース



国連ユニタールと日本政府

南スーダン・プロジェクトマネジメント研修共同開催

2015年9月22日、ジュバ、南スーダン – 国連訓練調査研究所(ユニタール)と在南スーダン日本国大使館は、「南スーダンにおけるプロジェクト開発および実施に関する研修プログラム」を実施いたします。アフリカ大陸の一番新しい国として持続可能な平和と繁栄を実現するために、南スーダンは様々な課題を抱えています。本研修プログラムは、このような課題を乗り越え持続可能な開発と南スーダンの復興を支援するために、現地の方々の能力向上を目的としています。

本研修プログラムは、南スーダンの現実に沿ってプロジェクト・マネジメント及びリーダーシップ研修に特化した内容となっています。6か月の研修期間の間に、南スーダンの若手や中堅の公務員及び市民社会団体職員の知識、技術や意識向上のために3回にわけてワークショップを開催します。ワークショップはジュバで2回、広島で1回開催する予定です。各ワークショップは、トレーニングモジュールと研修生主導で実施される現在の南スーダンにおける課題解決対応策プロジェクトによって連動しています。研修内容の一つとして研修指導員研修(Training of trainers)が組み込まれており、各研修生が研修で得た知識を所属組織に広く共有することが期待されます。2015年度の研修プログラムは、2015年11月から2016年3月まで実施され、20名の研修生が16の政府機関と4つの市民社会団体の代表として参加します。

ユニタール広島事務所の隈元所長は、「ユニタール広島事務所の職員とともに、南スーダンのために貢献できることを光栄に思います。ユニタール広島事務所は、世界で初めて原子爆弾が投下された街にあります。広島は、原子爆弾投下後短期間で復興を遂げました。広島の経験を共有することによって、能力強化に加え南スーダンの人々に希望を与えることができることを期待します。南スーダンの明るい未来を築くために、現地の方々と一緒に活動できることを楽しみにしています。」と述べます。国連ユニタール広島事務所は、南スーダンの持続可能な開発を支援するために2015年9月、ジュバに新しく現地事務所を開設しました。

駐南スーダン紀谷昌彦大使は、「日本政府と日本国民は、南スーダンの人々が持続可能な開発のための自助努力を支援しています。戦後の廃墟から立ち上がり平和を追求してきた日本としても、この日本国とユニタール共催の研修によって、南スーダン主導による平和づくりが根付くことを期待します。」

日本国政府は、国際平和と開発を強く推進しており、ユニタールを含む様々な形の人道、開発、平和構築プロジェクトを通じて南スーダンの人々の支援に取り組んでいます。

本研修プログラムは、南スーダン政府の調整のもとすすめられています。外務国際協力省が政治的な窓口となっており、労働公共人材開発省が実働窓口となっています。

国連ユニタールとは

国連訓練調査研究所(ユニタール)は、国際連合の研修機関として世界各地で活動しています。我々は現代の様々な課題を乗り越えるために、能力開発を通じて個人や政府、団体を支援していきます。当事務所は紛争後の復興や国際平和を推進する研修を実施し、アフガニスタンやイラクなど復興を目指す国の人々を対象に研修を行っています。

以上

担当者：

ユニタール広島事務所

島津 準子

メール: junko.shimazu@unitar.org

電話: +81 82 511 2424